

ガット

東村山市民テニスクラブ協議会・機関紙

12月号

発行：
東村山市民
テニスクラブ協議会
会長 川路俊一



<http://www.higashimurayamatennis.com/>
<http://www.higashimurayamatennis.com/i.html>

☆今年度の総会の日程が下記の通り決定されました。
市民テの最高意思決定機関である総会に多数の方が参加されることを期待します。

期日 : 2009年1月18日(日)
時間 : 15:30~17:15
場所 : スポーツセンター 大会議室

☆正月は5日まで市のコートは使用できません。そこで、新年のコートを柳泉園に求めることにしました。
その抽選が12月2日に行われます。なるべく多くの方にこの抽選に参加していただきたいと思ひます。各クラブ会長から既に依頼が出ていると思ひますが、ご協力お願いいたします。

集合時間 : 12月2日(火) 8時30分
集合場所 : 柳泉園
(10時ころまでには終了の予定)

☆35周年記念行事無事終了

11月23日(日)にジュニア・レッスン、懇親テニス大会が多数の参加者を得て、盛大に執り行われました。実行委員会のメンバーが長い時間をかけて準備して来てくれたおかげで、笑いあり、真剣勝負ありの楽しいイベントとなりました。それにしても、ボレー・ボレーがあれほど続けられないものなのか…。
ジュニア・レッスンの参加者およびその保護者から次回の開催を楽しみにしているの、早くやってくれたいとのコメントが多かった。これは、技術部のメンバーによる熱血レッスンがテニスの楽しさを教えてくれた結果であり、大いに評価されるべきものであった。今後は開催頻度をどうするか、開催時期は市民テの入会締切り前にすべきかなどの議論を進めていく必要がある。
11月29日には市民テの忘年会を兼ねた懇親パーティーも行われました。詳細についてはガットの新年号で紹介いたします。

☆新入会員のオリエンテーションが11月1日(土)、19時よりスポーツセンター、大会議室で行われた。今年の新入会員は39名。その内訳は、一般会員21人、家族会員10人、ジュニアが8人となっています。なお、新名簿は2月配布の予定です。

運営委員会報告 11月2日 柳泉園

- ☆川路会長
 - ・ コート整備費用として185,136円受領した。
 - ・ それに関連して塩カリを20体(42,000円)を購入した。
- ☆斉藤副会長
 - ・ 35周年記念行事に教育委員会、体協やテニス連盟に招待状を郵送した。
- ☆小松山技術部長
 - ・ 第二期のスクールを開始した。中級スクールの参加希望者が多く、場合によっては3面のコートが必要になる。
 - ・ 初級クラス受講者で中級クラスを体験したい人は12月23日に体験できます。コートに直接来てください。
- ☆事務局より
 - ・ 来年の本井教室は西校を使用する。時期、開催方法については本井先生側と一緒に検討して行く。
 - ・ 柳杯は海の日(7月20日)西武ドームを予定。
- ☆萩山クラブ
 - 総会兼新人歓迎会兼忘年会 12月20日(土)18:30 久米川 庄や
 - 村高での練習会 12月6日(土)、12月28日(日) いずれも午後
- ☆青葉クラブ
 - 村高での練習会 12月7日(日) 午後
- ☆栄クラブ
 - 村高での練習会 12月27日(土) 午前
- ☆諏訪クラブ
 - 村高での練習会 12月28日(日) 午前
 - 忘年会 12月13日(土) 時間、場所未定
- ☆美住クラブ
 - 村高での練習会 12月6日(土) 午前
 - 西武ドームでの練習会 12月23日(火・祝)
 - 総会兼忘年会 12月13日(土) 16:30、久米川 義

12月のコート

中級スクール開催 23日 10時~12時 久米川コート

テーマは「ダブルス実践パターン練習」~試合で活かせる対処法~

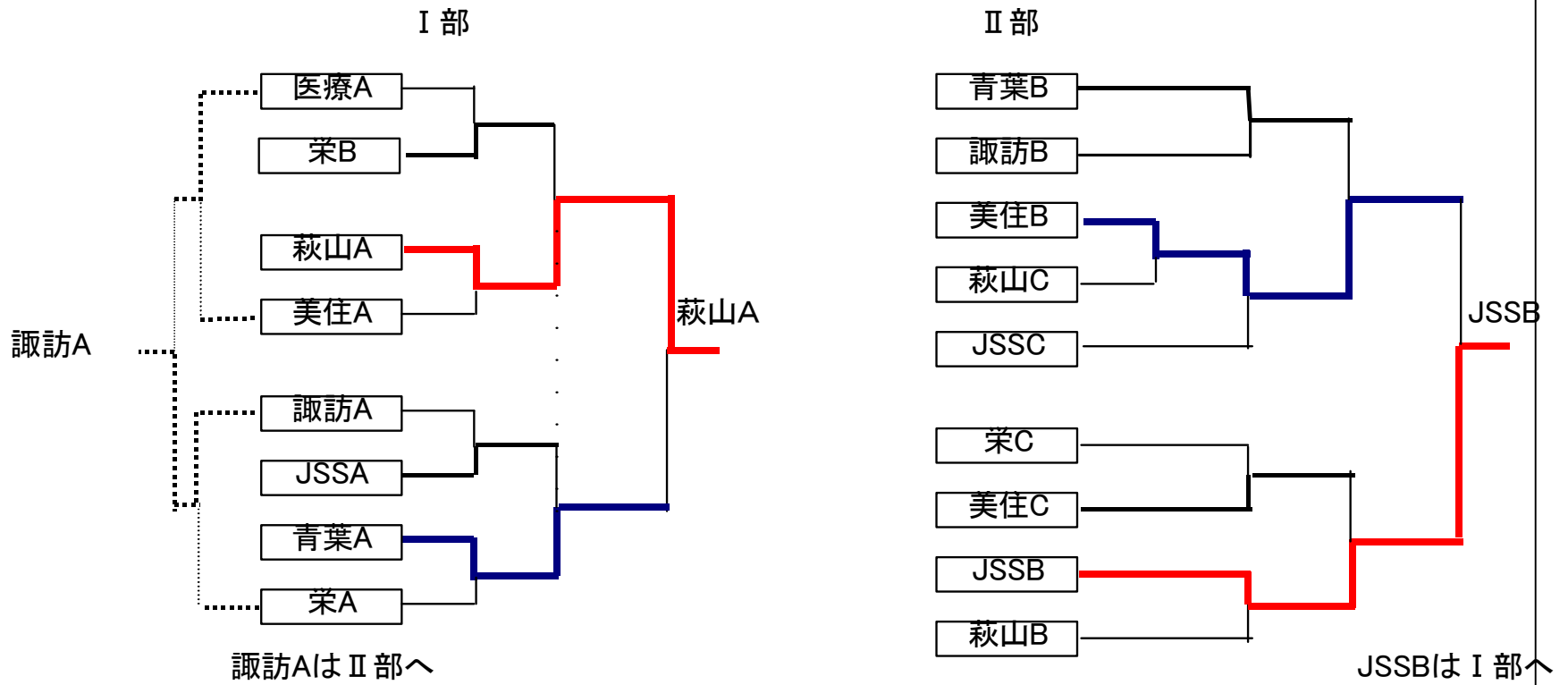
初級者の体験参加も受け付けていますので、希望者は10時前に集合して下さい。

	6(土)	7(日)	13(土)	14(日)	20(土)	21(日)	23(火)	27(土)
7-9	A,B	A,B	A,B,C	A,B,C	A,B,C	A,B,C	D,E	A,B,C
8-9	—	1,2,3,5	—	1,2,3,5	—	1,2,3,5	1,2,3,5	—
9-11	2,5	1,2,5	1,2,3,5	1,2,3,5	1,2,3,5	1,2,3,5	1,2,3,5	—
11-13	1,2,3,5	1,2,5	1,2,3,5	1,2,3,5	1,2,3,5	1,2,3,5	1,2,3,5	—
13-15	1,2,3,5	1,2,3,5	1,2,3	1,2,3,5	1,2,3,5	1,2,3,5	1,2,3,5	—
15-17	1,2,3	1,2,3,5	1,2,3,5	1,2,3,5	1,2,3,5	1,2,3,5	1,2,3,5	—

村高		
期日	午前	午後
6(土)	美住	萩山
7(日)		青葉
27(土)	栄	
28(日)	諏訪	萩山

春に予定されていた2008年度の太田杯男子の部は、天候に恵まれず、中止となりました。しかし、11月9日に日程を変更して改めて開催されました。当日は秋空の元、大接戦が展開され、I部では萩山Aが優勝、準優勝は青葉Aとなりました。II部では美住Bが健闘したものの、決勝戦でJSSBに敗れ、おしくも準優勝でした。I部のコンソレで諏訪Aがまさかの敗北となり、来年はII部で捲土重来を期すことになりました。クラブ再編成後、初めて市レベルでの優勝に沸いた萩山クラブでは、その夜盛大な優勝記念パーティーを開いたことは言うまでもありません。その模様の一部はホームページに掲載されています。

太田杯男子の部 成績表



I部は初戦から好試合が続きました。特に萩山Aと美住Aの試合はしょっぱなからタイブレークとなり、それを制した萩山が結果的には決勝にまで駒を進めることができました。一方、青葉は順当に勝ち上がり、安定した勝ちっぷりから、下馬評ではもっぱら青葉有利でありました。決勝戦は第一試合がAコートで開始されました。青葉Aが5-1とリードした時には、試合の行方は誰の目にも明らかでした。しかし、それから萩山の驚異の逆襲が始まったのでした。ちょうどその頃、Bコートで開始された第二試合のプレイヤーは、自らの試合よりか、隣のコートの趨勢が気になる様子でしたが、萩山の小泉・佐藤組が青葉の岩切・長廻組を下し、まず1勝を挙げました。そうなるや誰もの目がAコートに釘付けとなり、両チームの応援団から大きな声援が送られました。ゲームポイントを握られた萩山チームでしたが、粘って、粘って、ついにタイブレークへ。すると追うものの強みか、タイブレークを制した萩山が2勝となり、その時点で優勝が決定し、夕暮れせまるコートに歓喜の声が響き渡りました。

大会で活躍した人々、あるいは残念な結果となってしまった人達もいますが、チームのために戦うことの楽しさと難しさを痛感した1日であったと思います。何人かの方にその思いを綴っていただきました。

まずは萩山クラブのAチームで小桧山選手と組んで、2度のタイブレークを制した、色白の古村 敏之さんからの投稿です。

優勝しました！応援して下さった皆さん、本当に有り難うございます。逆転で優勝できたのも、皆さんの応援と小桧山さんのガッツポーズのおかげだと思っています（笑）。

正直ゲームカウント1-5の時は逆転は難しいと感じていましたが、2-5か3-5の時に小桧山さんの渾身のガッツポーズを見て、「ヤバイ、この人諦めていない」と思いました…。その後の事はあまり覚えていませんが、ウィニングショットを決めたことだけは、はっきり覚えています。小桧山さん、ごっつぁんです！

最初のうちは、サーブ、リターンの基本動作が出来ず、ゲームメイクに大変苦しみましたが、周囲の応援もあり、気持ちだけは負けずに取り組めたと思います。初戦と決勝はタイブレークで、ギリギリの勝利でしたが、それだけに応援の力が大きく、団体戦の醍醐味を味わう事ができました。

翌日以降5日間筋肉痛に苦しめられるという『暗黒時代』を経験しましたが、それを差し引いても余りある勝利だったと思います。

萩山クラブ、バンザイ！！



祝勝会での小桧山 隆(左)と古村 敏之さん

惜しくも優勝を逃した青葉クラブの長廻(ながさこ)隆志さんからは次の様な感想を寄せていただきました。

勉強になった太田杯！！



右が長廻 隆志さん、左は岩切 京一さん

はじめまして、青葉クラブの長廻(ナガサコ)隆志です！ちょっと自己紹介させて頂きます。私がテニスを始めたきっかけは、4、5年前アニメでやっていた「テニスの王子様」を見て、やろうと思いました。それまでは、テニスは女性のスポーツ“お蝶婦人”と言うイメージがあり、ずっとサッカーをやってきた自分にはかなり抵抗がありましたが、今ではイメージがガラリと変わりました。いざ、やろうとしても、テニス経験者の友達もいなかった為、素人同志で年3、4回位しか出来ませんでした。約2年前に某テニス school の体験レッスンをやってみて、それから週1回 schoolに通う感じでした。たまたま近所に市民テの方のいる今年から入会しました。今では、週3、4回もやる程、I Love テニスになっています、でも、冬場(12~3月)がスキー、スノボと多忙の為、テニスをする機会が少なくなるのが残念です。

さて、話は変わりますが春は雨の為、流れた太田杯が代替で出来る事になりました。8時青葉クラブ集合！！阿部監督よりチーム発表があり、びっくり！な、なんとAチームでした。理由はボールが当たった時の回復力と若い(気持ちは20代)と言うことでした。今の自分には荷が重いと思いましたがまたとないチャンスだったので、胸を借りる気持ちでチャレンジしました。一試合目1-6、二試合目6-4、三試合目2-6。でも、青葉Aは先輩達の活躍で準優勝、青葉Bは3位と言う結果で太田杯が終了しました。自分は全く活躍出来ませんでしたが応援に来て下さった先輩方、3戦ペアを組んで下さった岩切会長に感謝致します。そして早く活躍出来る様に今後は目標や課題を設定して頑張っていきたいと思っております！

皆様、コートで会いましたらお相手よろしくお願い致します。

2年連続で優勝をしている医療センターAを初戦で破って、見事3位入賞を果たしたのが、栄クラブのBチームでした。岩元 清水さんからのコメントです。

栄クラブBチームの想定外の活躍で番狂わせが起きてしまいました。プレーした本人達も、昨年の覇者の医療センターAチームにまさか勝てるとは思っておりませんでした。

勝てたのは、ペアリングがマッチしたことと攻めの姿勢を貫けた結果だと思っております。

個人的には、柳杯・シングルス・ミックスともに一回戦負けが続いて悔しい思いがありましたので、今年最後の試合、力が入りました。



健闘の栄クラブB、左から上田 敏夫、岩元 清水、石原 滋樹、谷古宇 勝美、東 修、監督の鈴木 裕一、田辺 修さん

予想だにできなかった、I部からの陥落という事態となってしまった諏訪クラブのAチームですが、敗北の直後に我々ガットの編集部からの執筆依頼に対して、「傷に塩を塗りこむような依頼だ」と言いながらも、快くお引き受けいただきました。

筆者の「自称 諏訪の貴公子」の文才豊か原稿をお読み下さい。はたして筆者は誰でしょうか？ それは、ひみ〜つ…。

太田杯 諏訪Aの悪夢

爽やかな秋空のもと、大田杯が開催され熱戦が繰り広げられました。諏訪クラブはこれまでの輝かしい数々の戦績による誉れ高い格式と伝統を背景にI部リーグ優勝を目指し、諏訪の女性陣による力強く熱い応援に後押しされ颯爽と戦いに望みました。

諏訪Aは3チームとの9試合をこなし、決勝戦を勝ち取るはずでしたが、試合数は予定通りとなるも接戦を征するには至らず、全て敗戦してI部リーグから姿を消す悪夢を味わう結果となってしまいました。

今回の試合では往年のスピードとパワーを志向する洗練されたプレースタイルに精彩を欠き、応援していただいた方々の期待を裏切ることになり、大変申し訳なく思っております。この結果を与えられた試練と受け止め、これを糧に更に老練なプレースタイルに磨きをかけ、めきめきと頭角を現してきた諏訪の若手プレイヤーの明るい将来展望を頼りに、チームの再生に取り組んで、心機一転巻き返しを目指します。

次回の太田杯ではこれらの事情をお察しいたゞき、対戦相手となるII部リーグの皆様には、お手柔らかにお願いいたします。

自称「諏訪の貴公子」記

太田杯を振り返って

美住クラブ会長 越後 健二

今回の太田杯は、正直、I部・II部の同時優勝を目指していました。それだけに、特にI部の一回戦敗退は、大変残念でした。そう言っている本人もI部のメンバーで勝利に貢献出来なかった訳で…。

II部の2チームは、期待に応えてもらい、もしかしたら美住同士の決勝も?と奮闘して頂きましたが、Cチームは善戦虚しく準決勝で敗退、Bチームは決勝まで勝ち上がるも惜しくも敗退でしたが、大変頑張って頂きました。残るは、I部の頑張りという事で、来年はまた新しい戦力も加わりますので、是非、同時優勝を目指したいと思えます。

最後に、決勝で大逆転をして優勝された萩山クラブには心から拍手を贈りたいと思えます。



左から松原 秀樹、斉藤 勝之、土方 節也、松原 純夫、田中 通隆、当麻 良明さん

最後にI部優勝の萩山クラブAチームと準優勝の青葉クラブAチームのメンバーを紹介します。



萩山クラブA 左から古村 敏之、佐藤 佑太、小泉 誠、小桧山 隆、川路 俊一、森田 護、岩崎 弘さん



青葉クラブA、左から阿部 昌史、渡辺 章、矢野 武彦、三反田 博也、長廻 隆志、岩切 京一さん

⇒次ページからの写真もお楽しみ下さい。



テニス連盟の今井、小泉理事と武谷理事長

まずは各クラブとも作戦会議



(敬称略)

美住A

左から

御園生 清
越後 健二
小西 隆行
太田 航
小林 勇樹
河原 茂



萩山C

左から

神保 恵
菅井 實
進藤 牧人
小桧山 駿
荒木 秀雄
石田 晴康
高木 太輔



美住C

左から

- 駒井 勇人
- 西村 秀和
- 田中 寛之
- 谷口 貴紀
- 江川 裕一
- 井上 修三



栄C

前列左から

- 伊地知 裕
- 稲用 一
- 野崎 克己

後列左から

- 山田 智康
- 渡 正士
- 堀江 昇



萩山B

前列左から

- 松井 貞二
- 小林 修二

後列左から

- 藤田 和彦
- 朝倉 守
- 古村 浩三
- 松井 和則



萩山A、2戦目で登場し全試合勝利した佐藤 佑太・小泉 誠ペア

団体戦の決着がついた後に登場となった森田 護・岩崎 弘ペア



優勝カップを中心に萩山クラブのメンバーでパチリ



祝勝会では優勝カップにビールを入れて皆で回し飲みをしました。神保会長の顔もほころぶと言うものです。



庄やの店長からお祝いの一升瓶の差し入れがありました。それでは足りなくてもう1本頂戴いたしました。